

1. 研究主題・副主題

学び合って考えを深めていく子の育成 —他者との対話から再考する授業を通して—

2. 主題・副題設定の理由

本校では、学校教育目標「人間性豊かな児童の育成」を受け、昨年度から続けて、研究主題を「学び合って考えを深めていく子」としている。本校が考える『学び合って考えを深める』とは、他者との対話を通して本質に迫ろうとすることである。昨年度は、副主題を「対話から自分の学びをつなぐ授業を通して」とし、児童が互いの違いを認め、聴き合う集団づくりを基盤に、主体的に課題に向き合う授業改善を進めてきた。その結果、課題に対して自分の考えをもち、児童同士で考えを伝え合う姿は定着しつつある。

しかし、お互いに伝え合った後に自分の考えを練り直したり、深めようとしたりする姿には至っていないという課題が見られた。本質に迫ろうとするには、既存の知識と新たな情報を関連付け、自分の考えを更新、再確認することが必要である。そこで、今年度は、児童が他者（他児童や教師）との対話から「再考」する姿を目指し、引き続き本主題を設定した。

3. 研究の仮説と重点

本校では、以下の仮説のもと研究を進めていく。

研究仮説

教師が、各教科等の「見方・考え方」や児童の実態を踏まえて**単元構想を工夫**し、対話の場面で**再考に導く働きかけ**をすれば、児童が単元を通して学習意欲を持続し、**自らの考えを变容、再確認し、学びを深めていく**ことができるのではないか。

本年度は研究における児童のめざす姿を「**自分の考えを『再考』する姿**」の1点に絞り込む。この「再考」する姿に導くために、以下を重点とした単元・授業づくりに取り組む。

重点1 単元構想の工夫

①各教科等の「見方・考え方」を軸にする

児童が単元を通して、資質能力を向上することができるように、児童に働かせてほしい各教科等の「見方・考え方」を軸にして単元構想を練る。

②児童の実態に合わせる

児童が単元を通して、学習意欲を持続することができるように、児童の好奇心や必要感を生む単元構想を練る。

重点2 他者と対話する場面での「再考」に導く働きかけ

「児童と児童の対話」だけでなく、「教師と児童の対話」も「他者との対話」と捉え、児童が他者との対話で新たな視点をもつことができるように、教師が意図的に働きかける。（以下は例）

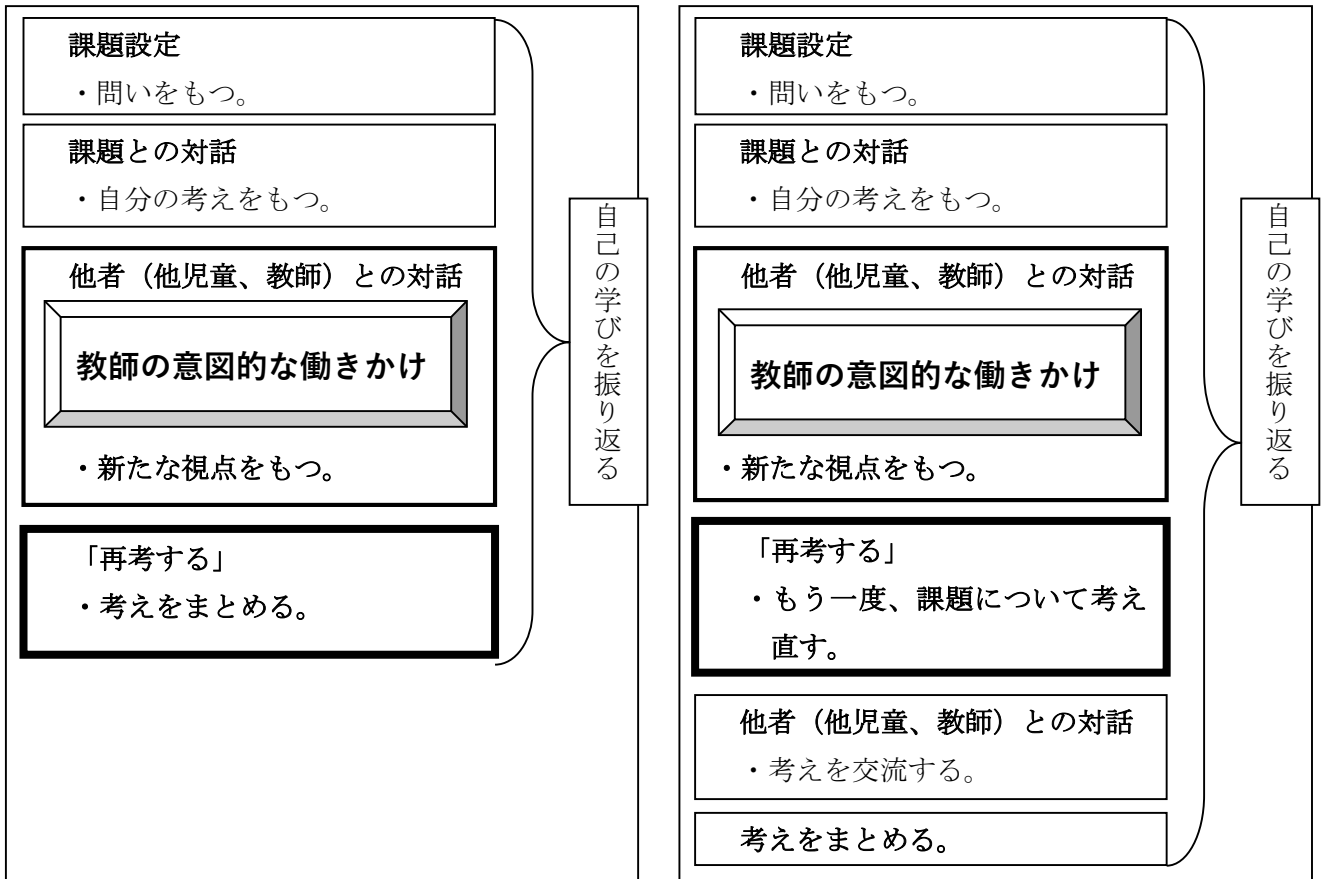
○児童と児童の対話における働きかけ

- ・ICTを活用して児童それぞれの考えを視覚化し、異なる考えをもつ児童との対話を促す。
- ・机間指導等で把握した数名の児童の考えを学級全体に紹介し、着目させる。

○教師と児童の対話における働きかけ

- ・児童に考えの根拠や理由、新たに生まれた疑問などを問いかける。
- ・児童同士の対話では着目されなかった視点を提示する。（資料、誤答等）

4. 授業(単元)イメージと学びの見取り

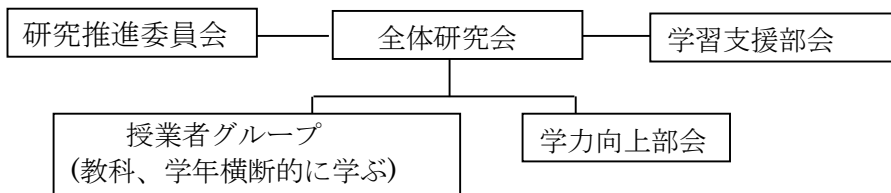


【児童の学びの見取り】

「他者(他児童、教師)との対話」後のノートへの記述、発言、行動、(振り返りの記述)などから考えの変容、再確認を見取る。

5. 研究の進め方

(1) 研究組織



- ・ 研究推進委員会
研究の方向・内容・進め方・研究構想図などの原案を作り、全体研究会に提起していく。
- ・ 全体研究会
研究の方向・内容・進め方や研究授業について協議し、学校研究についての共通理解を図る。
- ・ 授業者全員
研究授業科目を中心に実践研究を図る。
- ・ 学力向上部会
学力向上を含め、共通実践など校内の学習支援全般について協議し、提案する。
各種調査(全国学力調査・県学力調査など)を分析し、対応を検討する。

(2)研究方法

- ① 主題・副題を受けて、全体研究会で研究の方向性を確認する。
- ② 各教師で授業実践を行い、学期に数回、クラスルームに実践の振り返りを投稿し、共有する。
- ③ 教師が3人グループで、「事前検討」「授業実践と参観」「事後検討」を行う研究授業システムを整備し、研究を進める。
- ④ 学習支援に関わる校内研修コーディネーターを設置し、学期に数回、教師のニーズに応じた学習支援に関わる校内研修（学習会）を実施する。（例 5月：器械運動、6月：水泳指導、8月：図画作品展指導、12月：書初め指導、3月：次年度学級開きについて）
- ⑤ 先進校視察の報告や講師を招聘した学習会を行う。

6. 研究推進年間計画

4	・研究主題・副題、研究の基本方針、研究組織、研究構想図等についての共通理解 ・児童の実態把握 ・研究の重点の設定、重点の具体化に向けた取り組み ・研究授業計画、共通実践の確認 ・研究主題・副題を意識した授業の基本スタイルの確認 ・授業案・指導案の形式について検討
5	・教科等の資質・能力育成シート・学力向上ロードマップの作成 ・全体研究会（提案授業：大門）5/13 ・学習会
6	・研究授業（谷口） ・学習会
7	・全体研究会（要請訪問：出倉） ・1学期の振り返り ・学習アンケートの実施
8	・全体研究会（2学期の方向性の確認） ・学習会
9	・研究授業
10	・研究授業
11	・研究授業
12	・研究授業 ・学習会 ・2学期の振り返り ・学習アンケートの実施
1	・研究授業 ・本年度の研究のまとめと研究集録の作成
2	・本年度の振り返り ・来年度の方向づけ
3	・学習会